

歯科専だより

山形美容専門学校との交流事業

令和元年11月8日(金)、15日(金)、22日(金)の3日間、山形歯科専門学校と山形美容専門学校の交流事業が行われた。

この事業は、本校歯科衛生士科2年生と山形美容専門学校2年生が、お互いの目指す職業を理解し、今まで学んできた専門的な知識や技術を教え合い、学びあうことを通して理解を深め、実践力の向上へとつなげていくことを目的としている。また、この事業は今年で11回目を迎え、昨年7月に、相互交流の推進に向け連携協定も結んでいる。

8日、15日の2日間では、本校学生が山形美容専門学校の学生に、カリエスリスクテストやブラッシング指導、PMTC、バイタルサイン測定を行った。ブラッシング指導の際には、本校学生が手作りの媒体を用いて相手にわかりやすく、丁寧に伝えていた姿が印象的であった。そして、山形美容専門学校生から「歯磨剤はどれも同じだと思っていた」「むし歯のリスクについて知ることができてよかつ

た」などの声も聞かれ、内容の深まりが感じられた。両校の学生たちはそれぞれ、自分から進んで対話を行い、大変有意義な交流事業となった。

同月22日には、本校学生が山形美容専門学校へ出向きヘアセットやハンドケアなどの指導を受けた。特にハンドケアでは、自宅でも簡単にできる方法を学ぶことで、今後にも活かすことができると大変好評のようだった。

このように、今年度も大変充実した交流を行うことができたが、これらを通して、両校の学生のコミュニケーション力の向上やお互いの職業に対する理解の深化がはかれるとともに、資格取得への意欲がさらに高まっていくことを願っている。

以下に学生の感想を記す。

(半田 茜 記)

第2学年 工藤 乃愛

これまで幼稚園や小中学校での臨地実習、自分の保護者を招いての実習はありましたが、同世代の方との実習は山形美容専門学校の方が初めてでした。歯科保健指導では、喫煙の悪影響やセルフケアの方法など授業での学びを伝え、PMTCやバイタルサイン測定では、今まで実習してきたことを実践し活かすことができました。誰かを内面・外面からきれいにする職業という共通点があり、たくさん刺激を受け、大変貴重な実習を行うことができました。これからも、今回得た学びや反省を一人ひとりが活かしていけたらと思います。



高橋朝子校長先生のご挨拶



山形新聞の取材を受けました



模型と媒体で指導しました